

新事業開発による伝統産業の活性化事業



おみくじ線香

#伝統産業 #新事業開発 #堺

目的

経営学を学ぶ学生と企業が連携し、堺市の伝統産業の経営資源を活用した新事業開発を考えることにより、経営学の学習を進めるとともに、伝統産業の活性化を目指す



ビジネスアイデアコンテスト

活動の概要

- **主な連携先**
堺市 産業振興局 産業戦略部 地域産業課 振興係 松原達規氏
株式会社福井代表取締役 福井基成氏
株式会社奥野晴明堂代表取締役 奥野浩史氏
株式会社ナカニ代表取締役 中尾雄二氏
- **活動地域**
大阪府堺市
- **活動期間**
2020年～2023年
- **活動資金**
堺市と関西大学との地域連携事業

連携にいたる経緯

社会学部の上野ゼミでは、経営学を学びながら地域の課題解決に取り組んできた。より実践的な学びの場を提供するために、地域連携協定を結んでいる堺市に対して、新事業開発による伝統産業の活性化事業を提案し了承され、堺市の企業の協力を得た。



現地調査



線香新商品「黒歴史燃やしたるさかい」

活動内容

2020年度は堺の伝統産業に対する訪問聞き取り調査を行った。その成果を発表するために、関西大学堺キャンパスにおいて、「『新事業開発による伝統産業の活性化事業』報告講演会」をオンラインの形式により開催した。2020年度の研究成果を踏まえ、2021年度には企業と連携してビジネスアイデアコンテストを開催し、関西大学(上野ゼミ)、大阪市立大学(吉村ゼミ)、大阪府立大学(今井ゼミ)の3大学の学生が新事業開発のアイデアを提案し、四つのアイデアが審査員特別賞を受賞した。2022年度はそのアイデアの事業化を企業とともに取り組んだ。線香産業の老舗企業の奥野晴明堂と共同開発した「おみくじ線香」を正月三が日に開口神社で試験販売し、180本が完売。また線香の新商品「黒歴史燃やしたるさかい」を堺伝匠館で試験販売を行い、4日間で8箱が完売した。株式会社福井とは包丁のサブスクリプションの事業システムの構築を検討している。

活動の成果

- ▶ 『新事業開発による伝統産業の活性化事業』成果報告会の開催
- ▶ おみくじ線香の試験販売と線香新商品「黒歴史燃やしたるさかい」の試験販売で商品完売
- ▶ 堺の和包丁のサブスクリプションのシステム構築の検討

今後の課題・目標・展開の可能性

- ▶ ビジネスアイデアコンテストを通して新事業の実現に向けて企業との連携を継続する
- ▶ 伝統産業のさらなる活性化に向けてあらたなイベントを検討する
- ▶ 学生の学習を深めるために、企業との連携を強化する

連携先からの一言

この事業を通じて、学生の皆さんが提案したビジネスアイデアをもとに新たに事業化され、いずれもメディアに取り上げられるなど、堺の伝統産業である線香の業界に新たな風を吹き込んでいただきました。

(堺市地域産業課 松原氏)

社会学部 教授 上野 恭裕 Ueno Yasuhiro



経営学が専門で、伝統産業やファミリービジネスの経営戦略を主に研究している。ゼミナールでは経営学を学びながら、地域の課題解決に向けたグループ研究を行っている。

